

2022年10月17日作成

Ver.2.0

食道がん患者の術後運動耐容能に対する術前化学療法中からのリハビリテーションの有用性

1、研究の目的と意義

本研究では、田上病院で手術前にリハビリテーションを行い、長崎大学病院もしくは長崎医療センターで手術を行った食道がん患者さんを対象として、手術前の化学療法中からリハビリテーションを行うことが手術後の体力の回復に影響を与えるかを検討することが目的です。これが明らかになれば、今後、より効果の高い術前リハビリテーションを提供することができるようになると考えています。

2、対象となる患者さん

対象は2019年7月1日から2024年10月31日までの間に、田上病院で手術前のリハビリテーションを行った後、長崎大学病院移植・消化器外科もしくは長崎医療センター消化器外科で食道がんの手術が行われた方です。その中でも、手術前に化学療法（抗がん剤治療）を行った方が対象となります。

3、研究の方法

対象期間内の該当する患者さんについて、電子カルテより情報を収集して行います。なお、手術前の化学療法の1回目が終了した時点からリハビリテーションを開始した方と、2回目が終了した時点からリハビリテーションを開始した方に分けて、情報を収集します。

4、研究に用いる情報

本研究で収集する情報は以下の通りです。

- 患者さんの基本的な情報
- 手術・化学療法の情報
- 合併症の情報
- リハビリの実施状況
- 検査の情報（レントゲンやCT写真、血液検査）
- 身体機能検査
- 生活の質の検査
- 疲労の検査
- 呼吸の検査

本研究は電子カルテより上記の情報の提供を受けて実施する研究です。

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

5、研究期間

研究機関長の許可日～2025年3月31日

6、外部への情報の提供

この研究に用いる情報は、症例報告書（紙）に記載し、共同研究機関である田上病院に集められ、解析を行います。症例報告書には個人を特定できるような情報は記載されません。

7、研究実施体制

本研究は多機関共同研究です。

《研究代表機関／研究代表者》

長崎大学病院 リハビリテーション部／神津 玲
〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号
電話：095（819）7963

《共同研究機関／研究責任者》

田上病院 リハビリテーション科／遠山 柊介
長崎医療センター リハビリテーション科／吉永 龍史